

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-09
事務事業名	畜産振興事業	根拠法令・要綱等	該当なし
事業開始年度	昭和46年度	問合せ先	担当課(室) 農林水産課 職・氏名 管理係長 大道健一 電話 0869-64-1831(内線236)
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目 施策	農業	

事業の実施	対象(誰・何に対して)	畜産農家、畜産農家周辺の市民
	目的(何のために)	環境に配慮した畜産経営体の育成。
	行政活動(どのような方法で)	家畜保健衛生所等関係機関と協力し、適正な畜産経営が展開されるための指導を実施。また、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応する。
	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	環境に配慮した畜産経営を促進する。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	畜産農家数	戸	10	10	10
	直接事業費	千円	0	0	0
	人件費	千円	0	730	282
	事業費計	千円	0	730	282
	国県支出金	千円	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0
	市一般財源	千円	0	730	282
	必要人員	人	0.00	0.13	0.04
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
畜産農家戸数	説明	10	10	10	
結果指標	結果指標量	戸	10	10	
	対前年比	%	-	100.0%	
	活動コスト	円	0	730,000	
	単位当たりコスト	円	0	73,000	
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	畜産農家戸数	式又は説明	-
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	10.00	10.00	10.00
対前年比		100.00%	100.00%
到達目標値	畜産農家に対する適正な指導等を今後も継続	到達目標年度	-

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
行政活動	事業開始当初の目的から変化している	畜産を取り巻く各種法令への適合に向けた畜産農家への指導の実施は妥当である。	
	対象を見直す必要がある		
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率性評価<A-E>	B
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		課題認識
	本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	事務作業にかかる効率性を常にチェックし、コスト削減に努めている。	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	有効性評価<A-E>	C
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難		課題認識
	受益者負担額を見直す余地がある		
手	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	環境に配慮した畜産経営体の育成に向けての指導が本事業実施の意義であり、事業の実施は妥当である。	
	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	事業の実施は前年度より向上している	
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	成果指標は前年度より向上している	
	成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	今後、成果指標は向上する余地がある		
成果向上の可能性	事業について積極的に情報提供している	市民参画度	
	事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	関係機関との連携を図りながら、畜産農家への指導を今年度も継続して実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	結果指標量	
成果指標量			

総合評価		評価区分<A-E>	C	
環境に配慮した畜産経営に向けての指導は畜産振興を図る上で必要であり、今後も関係機関との連携を密にして実施していく。指導にかかる事務作業については見直しを実施し、効率の向上に努める。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事務作業の見直しを実施。	随時	効率性の向上